

# ***A Letter from the Career***

## ***Guidance Office No12 May14***

今回は、今年の私立大学の入試傾向を紹介します。

### **新入試回避(極端な現役志向・超安全志向)**

- 指定校推薦・AO入試の志願者増加
- 推薦入試は、前年の大幅難化の影響で志望者減  
→ 推薦志願者1%減 合格者16%増で易化
- 文系人気落ち着く 理工・農は堅調 特に情報系が人気

来年から始まる新入試を回避するために「超安全志向」の入試となりました。学部別では、景気後退を見越して、経済・経営・商学部などの文系学部は減少。特に法学部が大幅に減少しました。一方理系学部では、これまでに人気があった「資格系」の医・歯・薬・看護学部が受験生を減らす一方、理工・農水産は増加。特に情報系技術者の不足などで、情報系が人気を集めました。

### **進む合格者の絞込み**

文部科学省の指導により、定員を超える合格者数の絞り込みがすすむ  
大規模校 定員の1.1倍まで 中規模校 定員の1.2倍まで  
入学者数が定員の規定以上にオーバーした場合、私学助成金のカット！  
→ 各大学で合格者数が大幅に減少 **私立大学の総難化時代の到来**  
その結果、「A判定でも合格できない」  
難関校～上位中堅校を敬遠して、安全校に受験生が集中

2017年以降に始まった入学定員の厳格化により、私立大の難易度が急速に上がりました。その結果、これまで比較的入りやすかった大学にも受験生が集中。模試の判定が「A」判定でも合格できないという厳しい状況が生まれました。しかし、今年は合格者の絞り込みも一段落し、やや広き門となりましたが、それでも非常に厳しい入試であったことには変わりありませんでした。





体育館周辺の新緑がとても綺麗です